

Respite Stellam, Voca Mariam !



小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

米一合運動へのご協力ありがとうございました

11月16日（土）の米一合運動へのご協力、ありがとうございました。全校の皆さんで持ち寄ったお米と石鹸を釜ヶ崎まで搬送しました。このお米は釜ヶ崎の三角公園での炊き出しの食材となります。この日も三角公園とそのまわりの路上には多くの方々が炊き出しの雑炊の提供を待っておられました。皆さんの献げてくださったお米がこのように役に立っています。豊かな時代にある日本であっても、今もなお、食べることに困っておられる方々がおられることを知り、どのようにすればこのような格差をなくすことができるのかを、是非とも考えていてもらいたいと思います。



お米（約200kg）と石鹸をお渡ししました。
三角公園のそばにあるふるさとの家の倉庫に、
保管していただきました。

↑ 炊き出しのようすです。

◆今回の献金期間と献金先◆ 12月6日(金)～12月23日(月)終業式

- 日本国際飢餓対策機構 (チャイルドサポーター)
- 円ブリオ基金センター (赤ちゃんの誕生を支援する)

サポートチャイルドの紹介

明星中学校と明星高等学校の小鳩会で1名ずつ、日本国際飢餓対策機構のチャイルドサポーター事務局を通じて、発展途上国の子どもが学校に行くための支援をしています。この活動は世界の飢餓や貧困地域に住む子どもたちが健やかに成長できるように、子どもたちを取り巻く環境の改善を図りながら、最終的に地域が貧困から卒業できるように推進するものです。支援している2名のチャイルドを紹介します。キムン・ヴォンさん(7才)はカンボジアのソムローン郡に住んでいます。今回、新しくチャイルドになりました。好きな教科は国語。自由時間には料理やいとこの子守をしたりするのが好きなのだそうです。将来の夢は教師になること。ウィルフレッドロチャ ママニさん(16才)はボリビアのリオ・カイン地域に住んでいます。数年間、小鳩会で支援を続けてきましたが、地域の生活・教育状況の改善がなされたため、12月末をもってこの地域での支援は終了となります。11月に卒業セレモニーが執り行われたそうです。これからのウィルフレッドさん将来のためにどうぞお祈りください。小鳩会は新たな地域で新しいチャイルドをサポートしていきます。今回の献金は2人の1年分の教育サポートにもあてられます。今後も続けてご支援を宜しくお願いします。

